

第4回広陵町ごみ減量等推進審議会 議事録概要

■ **開催日時** 令和5年11月28日(火) 午前10時～午前11時30分

■ **開催場所** リレーセンター広陵 3階 研修室大

■ **出席者**

<委員> 8人(欠席7人)

<町・事務局> 3人

■ **次第**

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 広陵町のごみ減量対策等の取り組みに関する諮問事項についての答申(案)について

4 その他

5 閉会 次回開催日の日程について

■ **配布資料**

会議次第

座席表

委員名簿

広陵町のごみ減量対策等の取り組みに関する諮問事項についての答申（案）

前回の【資料1】「年度別有資源回収売却金及びペットボトル再商品化合理化配分金」

別紙1

別紙2

別紙3

■ 議事内容

3 議事

- ・（1）広陵町のごみ減量対策等の取り組みに関する諮問事項についての答申（案）について

（事務局）

議事の1、広陵町のごみ減量対策等の取り組みに関する諮問事項についての答申案についてご説明。前回第3回の審議会でお渡しさせていただいている答申案について、変更させていただいた箇所についてご説明。

（事務局答申案の説明）

（会長）

「はじめに」の部分で、赤で追加した部分について、まずご意見あれば頂戴したい。

次に4ページ目、審議の経緯・経過の報告を答申書の中に記録し、審議会で我々の付加で追加する経緯の報告になる。項目について、簡単に示す形に普通なってくる。

（部長）

3番広陵町ごみ減量等推進審議会の経緯は、別紙で持って行くのか、もっと細かい文書で載せたほうが良いのか、審議いただければと思う。別紙として第1回、第2回という形でも良いという気がして、そういう形で載るとすれば、ここもうちょっと文書だったもので載せた方が良いのかとも思っていた。

(会長)

項目の羅列があれば、別紙という方法もあるし、本当最後の方に添えていく場合もあります。今回の審議会の議論の中で3番目の項目をどう扱うべきか、そんなところのご意見をお聞きしたいと思うので、委員の皆様方にはご意見を頂戴したいと思う。

(委員)

詳細については、議事録で載ってますよという提示をしておけば良いと思う。この3番目の中では、概要で良いと思う。詳細は議事録を見ていただければ具体的に分かれると私は考える。

(委員)

話の流れがフローになっていたら分かりやすいと思う。

(会長)

特に今回はこんなポイントで議論したんだとか示す形の纏め方だと良いと私は思う。経緯につきましては概要を纏めてくるところで今日の第4回の審議会の中では皆さんからのご意見だったという形にしたいと思う。4番目の趣旨書きの中で示した部分が追加されたことになる。

別紙の1、2、3にあるようにSDGsという国連が2015年9月の総会の時に、2030年までに17の目標を皆で世界の国々が取り組んで行きましょうということである。SDGsについて、当時の安倍総理から、広陵町は未来都市に設定して頂いた。そんな中で、この取り組み、特に別紙3のところ具体的にやっているところがある。減りつつあるけれども、特にフードロスをいかに減らすかという、ごはん軽く一杯分の量を捨てているということで、国連が目標にしている量より圧倒的に多いことを認識しながら、足元の広陵町も、食品ロス抑えていったら良いのかも考えなければならない形で、未来都市選定に選定されたから、積極的に実施していくことが、結果的にはごみ減量という

ことに繋がっていくと思うので、事務局の方からSDGsの追加が出てきたことは非常に良いことであると思う。4番目のところで、SDGsの視点が加わった。5番目で、自治基本条例の理念に基づいて、以前は3R、今は4R、5R、環境問題全般に対してごみを減らしていくこと、可能な限りリサイクルしていく取り組みを考えていく必要があると、お茶碗5杯を捨てている日本の中でのフードロスということで、5番目も4番目と同じように連動の中で、これは考えていくべきことだろうと思う。5番目、6番目、4番目のところで赤字で示された追加の部分について、意見があれば頂戴したい。

(委員)

黒地の部分についての議論が多分なされてなかったと思うので、5番目の収集方法とか収集形態とか、分かりやすく、フローチャート的なもので、ごみをどこに入れて次にこうやって最終は大阪湾行ってというように前後の比較をつくれれば分かりやすい。文章ではピンと来ない。4番目にこれからのごみ減量に向けたとあるけど、諮問されているのはこれまでのごみ減量に向けたになっている。どっちが正解か。

(会長)

答申書が取りあえずこれまでの経緯を踏まえた上でこれからどう取り組んで行ったら良いのかというところを答申書の中で示すという意味では特に問題は無いと思うが、事務局の方では何かご意見あるか。

(事務局)

「これまでの」が正解です。すいませんでした。

(委員)

前回の審議会の答申の中に、17ページには住民、事業者、行政の役割ある。諮問されている内容というのは符合するで、行動計画等への評価をしようと思ったら、行動計画等は怎么样了かが要ると1回目から質問している。そこを明らかにしないと次に進めないと思う。過去放っておいてこれからでは、諮問されている内容とは違うことになる。あんたら何していたのかと言われるから言っている。

(部長)

議会の決議が出て、町長からの諮問があり、前回の答申というのも当然考えなければならないという形で、これまでどうやって14ページ、15ページでこういう形で出てるということについてある程度載せて、今後どうしていくかという形に行く必要があると思う。有料化する前と令和3年との比較というのは載せているけれども、全体的な内容は載っていないし、全体の流れとしか載せてないので、色々追加していかないといけない部分が多々ある。次回はそれを入れさせてもらおうと思う。

(会長)

事務局の方からこれまでの経緯をある程度分かるよう形で纏めていただくと、資料も次回の審議会以降の中でお示しいただくことをお願いする。過去ではなくて、これからのご意見を頂戴したい。

(委員)

住民の方に強制というものはしんどいと思う。せめて行政は答申受けたものはやろうとしないと、これは言い放しで良いのか。答申纏めた後、そんなのあったのかというようなものでは困る。前回の答申で住民、事業者、行政、それぞれこんなことやって行きましよう審議会では行政はこんなことに留意してくれと言葉まで付いて答申が出ている。

審議会では言うけど、後放ったらかしで検証もせず、言い放しで良いのか。それで済ませるのか。

(会長)

やっていなかったから駄目というお叱りの部分も必要かもしれないが、期待をしながら私たちの方としてはよりベターな行動指針とか計画を策定していきたいと思っているのでご協力よろしくお願ひしたい。

(委員)

4ページで、全体の最終的な結果でしか評価されていない。多分結果を出しづらと思うが、前回27ページ住民、事業者、行政の役割、それぞれの結果を具体的に総数、数値等に出すように努力はして行ったらと思うが、数値では評価しづらかったのであれば、少しメモする形でこういうこと

があるとか、この答申の次回の行動指針の中に入れていく等、次に繋がるような反省を4ページではしておいて、5ページにはそれからやらなければいけないことを棲み分けて書いていけばスムーズと思う。そ4ページが過去の振り返り、その反省を生かして5ページに今後の流れを書くとスムーズに行くと思う。5ページの記載されている内容は大きくごみの減量対策、ごみの分類、収集方法について3本柱でいろいろこう書かれているけれども、いろんなものが煩雑に混ざり過ぎて、誰がどういった役割があるのか読み取りにくく、主体的に住民でやらなければいけないことと、行政がやらなければいけないことが一緒くたに置かれていて、皆他人事と思って結局誰もやらないような文書になってしまう。誰がどういうふうにここまではやっていって、ここからは誰がやらないといけないとかというふうに、文字の並び替えをすると読みやすくなると思う。町の役割としては、水切りをただ推進するだけだと、住民からすると、やれと言われているように聞こえてしまうので、その仕組みを考えると、今後こういうことやろうと思っていることを書いた方が良いと思う。更に次にフードロスのために一般家庭の取り組みとして生ごみの減量を取り組んでもらいたいということが書かれていて、全部住民にやれと言っているように聞こえる。やりたいと思うように皆でやろうと機運を高めるための協力をするので皆で一緒にやろうよというような文章の構成にした方が、好意的に読んでいただけると思う。住民自治基本条例もできているし、我々も行政にやれよというような書きぶりは良くないと思うし、私たちもやるし行政も一緒にやりましょうという書きぶりに作り込んでいくというのが最適と思う。

(会長)

4番目と5番目をはっきりと分け、4番目のところにはこれまでの経緯の中でどのようなことをしてきたかということ、5番目はこれからどうすべきかとするのが、大体行政側の視点で流れである。おっしゃった5番目で、行政がやる役割、事業者の行うアクション、市民が行うことを、はっきり自分たちの役割はどんなものかということを知るような形で纏めていくと、読み手は分かりやすいと思う。今回の答申書は住民側の視点からも纏まっている流れの答申書ができれば良いと思う。5番の中に雑紙のことが全然入っていないので、雑紙を可燃からリサイクルの方に持って行けるような節が一つ入れていただいたらと思う。

5番目が、いくつかのテーマが雑然と並べられて読みづらくなっている。答申案の全体について言えるが、「次に」とか「また」とか、基本的な考え方のところ、ある意味では世界レベルで、国単

位で、その次は県のことで触れている。それを受けて次は広陵町はということで、段落を置かれたらと思う。

水分含有量が50%くらいになることが多いということである。やはり水切りというのが大事でおっしゃったように雑紙もできるだけ分別を徹底する中でしっかりと再資源化に持って行くことも非常に大事な指摘ではないかと思う。

(委員)

前回の答申書の17ページ、住民、事業者、行政の役割、住民の果たす役割、事業者の果たす役割、行政の果たす役割、で一番最後の段で当審議会では行政は特に以下のことに留意ということがあり、中身が書いてある。このまま使って良いのではないか。

雑紙のことや、水分のことを具体的に書いていけば私は良いと思う。現実ほとんどできてなくて、ちょっと加えただけで皆さんが良しとされることが心配。

(委員)

同じ目標に対して行政・事業者・住民、みんなでやろうよという感じの作り込みをしないといけない。前回の答申はそれぞれやってねというみたいな文章になっているので、それでは分かりにくいし、人は動かないし、信頼関係を築きにくいので、今回はそういう書きぶりではないバージョンに作り替える必要がある。

(会長)

それぞれの役割を、それぞれにある目標に向かって、立場が違ってもやっけていこうという部分が、5番目のところに入れていくと、以前とは違った答申になると思う。

(部長)

前の答申は目標どおりできたかと言われれば、できていないし、評価すらできていない状態で、前回は一般町民さんに答申案というのを周知してない。今回は議会からの決議で出たということで、議会に報告する義務があるので、議会にもやっていることをしっかり載せさせてもらい、前回の

きなかった反省をさせてもらって今回をどうしていくか、具体的なことを載せている答申に持って行きたいと思うので、色々ご意見よろしく願います。

(会長)

6番目で、この審議会が発足するきっかけとなった指定ごみ袋の価格について、意見が住民の方から出てきて、町長の方はもう一度これを審議会の中で議論しようということでこの審議会を発足した経緯で、事務局の方からはこのような値段で県内では進められているという報告があった。これは、議論していく中で最終的に判断していきたい。7番目の終わりで、審議会がどういう経緯で行われてどういうふうにしていくか、提案みたいなものが出てくるとは思う。今日は、答申案という案についての議論を行った。ある程度方針が定まってきたと思う。4番目と5番目についてははっきりと分けながら、4番目についてももう少し整備していくということ、5番目はもう少し具体的に、先程、行政、市民、事業者の役割について、具体的に一緒に一つの目標に向かって、それぞれの立場を考えながら進めて行くという視点は欠けていたので、今回はそれを値で示しながら、フィードバックしながら、その進み具合を確認できるような具体性があれば良いと思う。行政としてどうということをやって欲しい、事業者にはどんなことやって欲しい、住民としてはこうやっていくべきだということの意見を次回はお一人お一人お聞きしたい。

5番目にSDGsの視点も絡めていただきたいと、SDGsの12番目の作る責任、使う責任の、行政の役割、事業者の役割、そして市民団体住民の役割、を議論して参りたいと思う。

(委員)

6番のごみ袋の値段について、他の町がこの値段だから広陵町もこの値段にしたからこれで良いということでは住民は納得しづらい。収支というか原価がいくらで、今後こういうためにストックして置く必要があり、その必要なお金がいくらというのを出すべきと思う。私は有料化になって良かったと思っている。中々詳細な有料化の根拠・経緯は出しにくいと思うが、現状では他市町村がこうだから広陵町もこれで良いと判断していると感じてしまう。

(部長)

議会の方でごみ袋の半額にと請願が生まれて、半額にしたら有料化してせつかくごみの減量化に進めていただいているのにということで、半額化は議会の方で否決になった。それでごみの減量推

進審議会を再開して、再度このごみ袋の価格についてまた検討して欲しいということでご審議いただくという形である。議会の方からも原価、大で1枚10円を1枚45円で売ってどれだけ町は儲けているんだという意見があったが、今、広域処理の天理の建築でかなりのお金の負担が広陵町でも必要で、基金に積み立てして合意に至っているので、後程しっかりお示しさせていただきたい。

(委員)

新しく入って来た人たちは皆さんごみ減量化のこと全く知らないと思う。周知について一個人が頑張っても全然できることではないので、少しずつでも良いんで皆さんに広げてもらえたら思うが、それには見やすくしていただいた方が読みやすいと思う。前回の資料見せてもらって、これだけ字数があるのでもう読む気しなくて、最初だけ見てもう良いわとなってしまったので、そこをまた皆さんが読みやすくするようにしていただけたらもっと周知されていくのではないかと思った。

(会長)

審議会の中ではそれぞれの行政、市民、業者の役割が中に出てくる概要みたいなものを小さな冊子で作ってもらえると、非常に分かりやすいし、自分の役割はこうなんだと見えてきて、それぞれのアクションが出てきてたら、答申の意味が出て意義があるものになると思う。

(委員)

最近、設置されてきている廃品の段ボールの回収の入れ物が、一杯になっている。誰も居ないけど自然に集まってる。自然に一気に一杯になってくると、自分で持ち込んでくることで住民としては処理・処分したいという気持ちに繋がる。段ボールだけではなくに他の物でも出す手順をきっちりしていたら、ごみの出しやすさや回収のしやすさを住民が実感して、もっときれいにごみが集まってくるのではないかと思う。それで、町の環境についてきれいな町にすれば、ポイ捨ても無くなるし、ごみを出すのも少なくしていくことに繋がる。このことにより、町への住民参加の感じになってくると思い、そのような住民参加を考えていけたらと思う。

(副会長)

まず自分たちでできることから、少しずつでも良いから一人一人が取り組んで実践していくことが、大きな広がりにつながると思うので、住民の皆さん一人一人に取り組んで欲しいと思う。

(委員)

ごみ問題についてはどこの市町村も共通で、大概皆似たようなことをしていると思うので、答申とか資料で、会長の関係されたところで構わないが、該当事例とか、成功された事例等の資料というか答申を何通か用意していただければありがたいと思う。一から考えるのも良いけれど、先例を参考にさせていただきながら、採用する・しないはこちらの判断で行えば良い。有料化については、環境省が一般廃棄物処理有料化の手引きを作っている。そこに何故有料化するのか、どの市町村がどんなことやっているのか、有料化とは何かということが書いてあり、非常に良い資料であると思うので、事務局から皆さんに配っていただいたらと思う。

(会長)

委員がおっしゃった環境省の資料を添付資料としてご用意いただけないか。これは非常に参考になる資料だと思うので、また県の方で一つの方針なりが出ていれば、そう言ったところの事例を紹介していただければと思う。また、委員のおっしゃった成功例があれば、事務局の方からも、また、他の委員の方からも、次回の審議会の中でご提示いただければありがたいと思う。もし事前に皆様に配布して欲しいというのであれば、委員さんの方から事務局の方に連絡をして、メールで添付して、資料をお送りして、当日次回の時に配布することで、事務局ばかりでなく、私たちの方からも情報提供しながら共有するという形で進めていきたいと思う。

4 その他 次回開催日の日程について

(会長)

それでは最後に、事務局より揃ったということで何かお願いする。

(事務局)

先程会長からお話しいただいたとおり、次回、引き続きの参考資料等添付させていただいて開催させていただこうと思う。次回もなるべく早めに開催できるようにこちらの方も準備させていただきたいと思うので、よろしく願います。また、日が決定したら1ヶ月前までにはご案内させていただき、今回お送りできなかった資料を次回までに必ず送るようにさせていただくので、よろしく願います。

(以上)